

2022年3月24日

日立造船株式会社
鹿島建設株式会社

NEDO グリーンイノベーション基金事業 洋上風力発電の低コスト化プロジェクトに参画 ～ 新たな浮体式セミサブ型「ハイブリッド浮体」の研究開発 ～

日立造船株式会社（大阪府大阪市、三野 禎男社長兼 COO、以下、日立造船）と鹿島建設株式会社（東京都港区、天野 裕正社長、以下、鹿島）は、グリーンイノベーション基金事業として国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）が昨年10月に公募した「洋上風力発電の低コスト化」プロジェクトのうち「浮体式基礎製造・設置低コスト化技術開発事業」に採択され、2022年3月18日付けで事業を開始しました。

「グリーンイノベーション基金事業」は、「2050年カーボンニュートラル」の目標達成に向け、NEDOに2兆円の基金を造成し、官民で野心的かつ具体的な目標を共有した上で、これに経営課題として取り組む企業等に対して、10年間、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援する事業です。

日立造船と鹿島は、「セミサブ型ハイブリッド浮体の量産化・低コスト化」をテーマに、浮体式基礎の最適化、浮体式基礎の量産化、及びハイブリッド係留システムについて、共同で研究開発を行います。

日立造船は世界初の巡回式浮体橋「夢舞大橋」や沈埋函など大型海洋構造物を数多く手がけています。鹿島も沈埋函やハイブリッドケーソンなどの大型海洋構造物の設計、施工実績が豊富であり、陸上風力及び着床式洋上風力において国内ではトップランナーです。本研究開発においては、双方がこれまで培ってきた技術力を融合し、その成果を将来の社会実装、さらにはカーボンニュートラル社会の実現につなげられるよう取り組んでいきます。

なお、本件の概要は次のとおりです。

1. 公募実施者：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
2. 事業名：グリーンイノベーション基金事業 洋上風力発電の低コスト化
3. 研究開発実施者：日立造船株式会社（幹事会社）と鹿島建設株式会社によるコンソーシアム
4. 研究開発テーマ：セミサブ型ハイブリッド浮体の量産化・低コスト化
5. 実施期間：2022年3月～2024年3月末（予定）

【ご参考：セミサブ型ハイブリッド浮体およびウィンドファームイメージ図】

